

「大滝ダム試験湛水中の点検・補修」のお知らせです。

大滝ダムは、平成23年12月15日から試験湛水を実施しています。

試験湛水は、ダムに水を貯めながら、機能を検証するもので、監視・点検等によりダム本体、放流設備、貯水池斜面等の安全性を十分に確認するものです。合わせてダム管理に必要な補修等も行い、管理に移行します。

現時点で確定の日常点検・補修は下記のとおりです。

## 1 , 日常監視・点検の内容

### 1 ) ダム堤体本体の点検 ( 継続中 )

堤体観測：ダム湖に水を貯めることでダム本体に掛かる水圧は増加します。

一般に水圧が増すに従い漏水量や変位量、ひび割れ等が変化します。これらの値がダムの安全性に影響が無いか・基準内で有るか等を確認するために日常点検を行っています。

- ・漏水量は、水深の深いダム中央部を中心に一定の漏水量を確認しています。
- ・変位量は、特に顕著な変位は有りません。
- ・ひび割れは、選択取水設備の操作室にひび割れを確認しています。

### 2 ) ダム貯水池内斜面の監視 ( 継続中 )

斜面監視：ダム湖に水を貯めることで貯水池斜面内に水が浸透します。一般的に水の浸透に伴い斜面に浮力が発生し安定性が変化します。貯水位の変化と斜面の安全性を確認するために、貯水池斜面に設置した観測機器等により監視を行っています。

- ・貯水池斜面は、特に顕著な動きは有りません。

## 2 , 漏水に対する補修

### 1 ) 漏水防止対策 ( 1 月末頃予定 )

#### ・目的

試験湛水に伴い確認された継ぎ目漏水箇所の止水対策を実施します。

#### ・内容

ダム本体は、21ブロックからなり十分な止水対策を行っていますが、漏水は貯水位が高くなるに従い、また外気温が低くなるほど増加します。

漏水対策の実施時期は、漏水量の変化と外気温の低い時期を判断して試験湛水に支障が生じないように実施します。

## 3 , ひび割れに対する補修

### 1 ) 選択取水設備の操作室の補修

#### ・目的

選択取水設備の操作室の壁面・床面のひび割れ補修と防水対策を行います。

#### ・内容

前回の試験湛水（平成15年3月～5月）実施後に選択取水設備の操作室の壁面及び床面にひび割れが確認され、調査の結果、操作室の鉄筋が一部不足していることが確認されましたので、試験湛水時に補修を行います。

補修費用については、設計業者に瑕疵修補請求を行い、設計業者の負担で行います。

補修作業は、2回に分けて行います。

壁面の防水対策（1月9日から実施）

恒久対策の補修は貯水池の水位低下後に実施します。

現時点の監視・点検及び補修は以上ですが、試験湛水状況により変更・追加があります。